



新たな世界の枠組み

令和8年3月2日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界のパワーバランスの崩壊は、絶対的な現実を有する自由主義陣営が、その新たな世界を模索するものである。

これらは世界政治の思惑とともに、新たな未来を模索するものである。

但しダボス会議の決定とラングレーの思惑という真実において世界を考察するとき、それらは必ずしも安寧なものではないものである。

またその背後が唯一世界の現実であることは必ず正しいのであり、現実を求めるとき、真実における判断が唯一その未来を可能とするものである。

これらバリバル思想が、ラングレーとメディアにおいて与えられた夢想であり、真実と判断という正しい選択とは相違するのである。

これら世界の真実は明らかに驚嘆するものであり、それらが世界の所有を有することにおいてそれに反することはできないのである。

資本力、経済力、軍事力、政治力において、それらと対応に対峙することが唯一世界との対等性を求めることであり、それらは未来という新たな現実を自己において求めることを許容するものである。

また宇宙の存在は、自らの判断を地球に対して有する。これら現実がすべてであり、それらの下、選択を有することが唯一可能なのである。

それらが政治における唯一の選択であり、現実である。

未来という希望は、唯一選択において許容されるものであり、それを有するのは政治なのである。